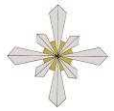


向陽中学校だより<第10号>



走れ向陽!

～志のある
夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 誰とでも対話し、目標達成に向け創意工夫してやり抜く

平成30年10月1日(月)
<発行者> 校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
Tel.35-2348 Fax35-2849

「第62回相馬地方PTA研究大会・相馬大会」

台風の影響はなかったでしょうか？自然のパワーを思い知らされる昨今です。

さて、先月22日(土)に、相馬地方PTA研究大会・相馬大会が市民会館で開催され、本校は本大会の事務局を務め、多くの皆様にご協力をいただきました。ありがとうございます。向陽中PTAを始めとして市PTAの発展にもご尽力をいただきました前PTA会長の島田さんが、感謝状を贈呈されました。大変お疲れ様でした。改めて感謝申し上げます。

また、講演会では国立教育政策研究所 客員研究員 滝 充 先生 による「いじめを生まない取組」について大変参考になるお話がありました。その一端をご紹介します。

- 『居場所づくり』：授業や行事の中で、どの生徒も落ち着ける場所をつくり出すことで、“居場所づくり”を進める。
- 『絆づくり』：授業や行事の中ですべての生徒が活躍できる場面をつくりだし、子ども同士の“絆づくり”を促す。
- 「未然防止」の進め方
 - 単なる「自己肯定感」(＝自分から自分への評価)ではなく、相手の存在が前提となって生まれる「自己有用感」(＝自分の行ったことを他人から認めてもらった、自分の働きかけを相手から評価された等)がポイント。
 - 子どもの人権を守り、子どもの人権感覚が育まれるようにしていくことが大切な力に。
- いじめに向かわない児童生徒
 - 身体的な健康を中心にした、主に家庭で取り組むべき課題は「早ね・早おき・朝ごはん」
 - いじめに向かわせない、主に学校で取り組むべき課題は「規律・学力・自己有用感」

ドリームマップ授業～生き方を考える～

20日(木)に3年生を対象にドリームマップ授業を実施しました。キャリア教育の一環として、社会で活躍している方とファシリテーターのペアで各教室ごとにより授業が進行されました。「夢をえがく力」「夢を信じる力」「夢を伝える力」を育むことが主なねらいです。1時間目から6時間目まで丸1日をかけ、ドリームマップを作成し、一人一人が発表しました。「夢を描くために自分と向き合う時間」を通して、イメージが具体化しその実現に向けた行動が期待できます。本校では自分の生き方を考えるキャリア教育を重要な教育活動ととらえ、継続的に取り組んでいます。



未来につながる2年生職場体験

19日(水)、20日(木)に、2年生は職場体験を実施しました。現場で働く社会人の方々から、仕事のやりがいや苦勞を感じ、自分の将来の夢や目標をつかむ一助となる貴重な経験をすることができました。真剣に取り組む子どもたちの仕事ぶりに、本年度も多くのお褒めの言葉をいただきました。



1日(月)	衣替え	18日(木)	3年租税教室
2日(火)	県駅伝大会(～3日)	22日(月)	向陽祭準備(～26日)26日は弁当
8日(月)	Ⓞ 体育の日	27日(土)	向陽祭
10日(水)	後期生徒会総会	29日(月)	繰替休業日
14日(日)	福島県PTA研究大会喜多方大会	31日(水)	相新音楽祭

10月

PTA資源物回収

29日(土)の早朝から、資源物回収に多くの皆様にご協力いただき、資源物回収を実施することができました。多くの時間をかけ計画・準備し、当日はスムーズに廃品を回収することができ、改めて向陽中PTAの団結力の強さを感じました。収益金は、部活動の活動や大会補助等に活用する予定です。ありがとうございました。



学校長指示・示達事項

(9月27日の職員会議で示した一部です。)

【10月】学校経営の重点

「豊かな実りと充実の2学期」を目指して
～学力の向上、自ら考え進んで「自己表現」～

10月の学校生活目標「行事等に目標を持ち、仲間と協力して自治意識を高める」

◇実践の重点<(全学年)学校行事への積極的参加☆『いじめアンケート』実施、『情報モラル確認日』配付>・行事への参加・後期の委員会活動・読書への興味・関心※行事への指導を通して充実感を味わわせる。

1 向陽中の生徒一人ひとりに「確かな学力」の定着を。

(1) 「自ら考え、学び合う授業」「意欲や質問のある授業」を積み重ねる。

○どの生徒も学習が成立している授業。→ペア、グループ学習を取り入れても最終的に『学習は個に成立する』。(終末、自分でまとめることができる)

生徒の発表後の教師の投げかけ

「それは本当かな」→「本当だよ。なぜなら、・・・」(人の話を批判的に聴く姿勢)

「どう？」→「全く分かりません」「よくわかりました」「ここが分かりません」

「付け足して言いたい」(反応ができる)

(2) 個に応じた指導、習熟の程度を考慮した指導、主体的な学習態度を育成する。

○上位生徒、下位生徒、個に応じた指導・支援・助言

○家庭学習の充実・宿題や課題の工夫、補充指導、居残り学習等の実施

(3) 現職教育、授業研究の実践を通して、教師自身の確かな力量をつける。

○『授業スタンダード』の実践で「確かな学力」の定着

○校内の授業研究(授業構想、授業案作成、研究授業、事後研究)の充実

○結果を残す

「よりよい学び合い」のために

① 課題解決的な学習の設定→意欲を高める課題設定

② 全国学力学習状況調査を意識した授業

③ 「課題」と「まとめ」の整合性

④ ペア、グループ、全体での学び合いの視点の明確化

⑤ 学び合いの後の「まとめ」が評価問題に生きる

⑥ 生徒指導の三機能(自己決定・自己存在感・共感的な人間関係)を生かした授業

⑦ 日常的な生徒との対話(よい関係づくり)

2 全校(生徒・教師・保護者)一丸となって心に残る「向陽祭」(10/27)に。

(1) 生徒主体の取組で(テーマ「つなぐ」～Be together as one～)希望を持たせる。

○生徒会役員・実行委員会が中心となった企画・準備・運営で感動を与えるものを

○生徒一人一人が輝く場、堂々と自己表現できる場を設定して、満足感、達成感を

○共に知恵を出し合い、協力して作り上げる喜びを

※学習成果の発表の場であることを意識させて

(2) 教師としての指導の充実を図る。

○進んで自己表現:生徒の意欲や主体性を最大限引き出すような指導・支援を

○おりめ・まじめ・けじめの徹底:礼儀、善悪の判断、根気強く、時刻・服装のけじめ、準備と後片付けの徹底

(3) 保護者・PTAの理解と協力を得る。

3 学校行事に本気になって取り組む姿、自己表現する姿を。～目標を持たせて～

◎生徒会総会(10/10)

◎向陽祭(10/27)

◎相新音楽祭(10/31)

・・・